

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

2021年

● 月号

vol.31



AVANCER 2022

— 生命だけは平等だ —

2022年4月、

当院は新しい病院に生まれかわります

医療機器の選定や内装、組織改革など、来年の開院に向けて打ち合わせも大詰めです。定期的に部門単位で現場見学を行い、業務の効率化を図るための人や物流の動線、人員配置など、実際の稼働を想定したシミュレーションを重ねています。

仙台徳洲会病院新築移転工事 上棟式を挙げる

2022年2月末の竣工、
同年春のオープンを目指します。



仙台徳洲会病院移転新築工事の上棟式を、参加者を限定して21日に現地で開きました。設計・監理は伊藤喜三郎建築研究所、施工は熊谷組。今後、内外装の仕上げ工事が最盛期に入ります。

仙台市地下鉄南北線の起点「泉中央駅」から徒歩約10分の泉区七北田字鷺籠沢にある既存病院の老朽化が進んでいることから、同区高玉町の中古車販売店跡地約3.5haに移築。新病院は9階建て塔屋1層延べ3万3739㎡。1-2階は主に外来・検査系部門、3階は手術系部門、4-7階は病棟、8階は介護老人保健施設、9階には総務部門や会議室を配置。屋上階にヘリポートを設けるほか、駐車場は450台分を確保し、木造平屋建て230㎡の保育所（職員用）も備えます。

神事には、佐野 憲 院長をはじめ各部門の責任者、工事関係者が出席し、代表者が棟木を木づちで叩く「上棟之儀」に続いて、神前に玉ぐしをささげて今後の工事の安全と早期完成を祈りました。

神事後にあいさつした佐野院長は「新病院は良い敷地、病院スタッフと優れた工事関係者の皆さんに恵まれてここまで工事を進めることができた。患者のために良い医療を提供していきたい」と今後の意気込みを語りました。



神事の様子



右から、佐野 憲 院長、住販システム 赤木代表取締役社長、井上尚美 副院長、佐藤裕恵 看護部長

無事の完成を祈願



建設作業も終盤へ——

来年4月の開院に向けて急ピッチで作業が進みます。

※建物は令和3年7月20日撮影



現在は内装や配管、空調設備の施工が進んでいます。
エントランス部分は、開口部から射す光と、安心感を与える光とが調和・融合するようなデザインを実現します。





呼吸器内科

呼吸器内科の御ご紹介

ごあいさつ

今回、呼吸器内科として新たに着任させていただく事になりました。これまで呼吸器外科医として肺癌を主体に外科治療または薬物治療に携わる傍ら、COPD（肺気腫）や気管支喘息、間質性肺炎に代表されるびまん性肺疾患、自然気胸、膿胸、肺炎などのコモンな疾患、様々な職業病として塵肺、アスベスト関連疾患、睡眠時無呼吸症候群（SAS）などの診療に携わってきました。

これらの疾患では息切れや止まらない咳・痰、胸部の重苦しい感じを訴えられることも多く、放置することで症状が増悪し進行していく疾患、進行するのみで改善の難しい疾患もありますのでこれらの症状のある方は一度早めにご相談ください。

初診時に詳しい問診と診察、採血、胸部レントゲンを始めとして胸部CT、精密な肺機能検査などを施行して考えられる疾患を絞っていき鑑別を進め、適切な治療を行います。いくつかの疾患ではここ数年で新しい薬剤によって飛躍的に治療成績が向上しているものもあります。例えば、数種類の吸入薬・内服薬の併用によっても発作を完全にはコントロールできなかった難治性の気管支喘息に対して、新規薬剤によって発作回数が減ってコントロールが比較的楽になりました。また、肺癌ではここ数年、免疫治療薬の登場によってその治療成績が大きく向上しています。

微力ではありますが呼吸器診療を通じて地域医療に貢献できるよう努力したいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



宮本 彰 医師

禁煙外来も開設しています

毎週金曜日の午後に禁煙外来を開設しております。喫煙はニコチンに対する薬物依存症です。そのため、簡単にやめられるものではなく、また簡単に依存状態にもどりやすいのです。長年の喫煙によって肺がボロボロになり（たばこ肺=COPD）、息切れが出てきます。また全身で動脈硬化が進み狭心症や心筋梗塞を発症したり脳梗塞・脳出血の危険性も高まります。肺がん・喉頭がん・食道がんなどの危険性も数倍から30倍くらいになることがわかっています。認知症の発症率も高く、脱毛も促進し性機能も低下し老化を早めます。“タバコ顔貌”になり美容上も悪影響があります。歯周病も増悪させます。喫煙は肥満よりも健康被害が大きいことが示されています。長年喫煙を続けてきた方などは、重篤化しやすいので禁煙も含めてご相談ください。検診・健診などで胸部異常陰影を指摘された方や胸部の疼痛のある方、胸が重苦しい方なども受診を検討してください。

禁煙外来では内服の禁煙補助薬を使用することによって12週間、約3か月で禁煙を達成することが出来ます。2020年4月からは健康増進法が改正され公共の場、レストランなどの飲食店でも喫煙をすることができなくなり喫煙者の方々にはいよいよ生きづらくなっています。この際、禁煙をして健康的な生活を達成し、健康で長生きできるようにしましょう。

禁煙外来は、毎週金曜日の午後3時（予約制）になっていますので、まずは、お問い合わせ下さい。



防災訓練を実施

コロナ禍で様々な行事が縮小を余儀なくされる中でも、怠ってはならない事がある



新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な行事が縮小を余儀なくされていますが、今年に入り中規模の地震は数回起きています。感染対策の観点から、密になるような大規模な訓練は出来ませんが、今できる最大限の備えは継続して実施しています。

災害時に院内に急遽設置される緊急災害本部へは、ライフラインをはじめ、入院患者の状態、医療機器の作動状況など様々な報告がなされます。それをすばやく時系列にまとめ、多職種で共有できるよう整然と迅速に書き留めなくてはなりません。以前対策本部を設置した際の映像を振り返りながら、各部門で意見を出し合いました。



～防災委員が中心に災害発生時の想定行動を確認～

「災害時」や「多数傷病者発生事案」は、最大多数の傷病者に最良の医療を提供するため、患者の重症度に基づいて治療の優先度を決定するためのトリアージを行わなくてはなりません。傷病者の緊急度、重症度をある程度知る事で、可能な限り多数の傷病者の治療にあたる事ができます。

今回は想定される事例をスライドに出し、参加者にランダムに答えてもらう方法で、傷病者の緊急度、重症度を再確認しました。





3階東病棟

**患者様やご家族の御希望に
“よりそい”多職種と“れんけい”
～広い知識と技術で最善を尽くす～**

3階東病棟は誤嚥性肺炎や尿路感染症などの内科全般の患者様を受け入れています。高齢の患者様は心不全・脳梗塞などの既往症を持っている方が多く、様々な分野の知識が必要とされており、広い知識と技術を持った看護師が働いています。また、認知症を発症している患者様も多く入院されており、患者様のニーズに応える事ができるよう、看護師間だけではなくリハビリスタッフやソーシャルワーカーなどの多職種と連携を図り、様々な視点からアセスメントしています。ご家族様の希望にも寄り添いながら早期治療・早期退院を目指して支援しています。

男性スタッフも多く働いており、いざという時とても頼りになります。また高齢の患者様が入院しているため、優しく元気な看護師が多く働いています！

どんな時も患者様の力になれるよう最善を尽くしています。



3階西病棟

**患者様のそばで重要なサインを見逃さない
新人育成に“よりそい”不安に“よりそう”**

3階西病棟は循環器内科の患者様が中心に入院されている病棟です。

今年度は7名の新人看護師が入职しました。プリセプターを中心に、それぞれの新人看護師担当のコアメンバーをつけて病棟全体で新人育成に取り組んでおり、PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）を導入し、新人看護師と先輩看護師がペアになって患者様の看護にあたっています。また、ベッドサイドを起点とした業務運用を基本としたセル看護も導入していて、先輩看護師とペアになることで、一緒に業務を行いながら看護知識や技術を学ぶ機会になっています。

新人看護師たちは、少しずつ病棟に慣れてきているようです。たくさん吸収して、素敵な看護師になってくれることを期待しています。





なごしのおおはらえに ちのわくぐり



地域連携室 副主任
千葉 英二



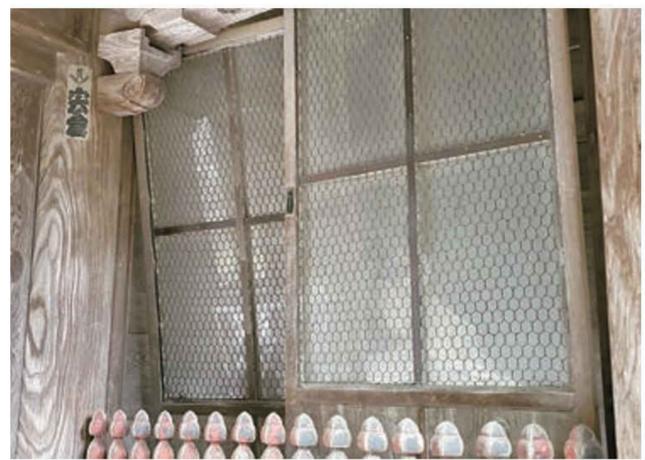
何やら早口言葉のような、呪文のようなこの言葉、ご存じですか？

仙台東照宮に行ったところ、右側の隨身像本田忠勝がいる小部屋のドアが外れかかった隨身門をくぐった拝殿の横に、「茅の輪」(写真参照)が置いてありました。くぐると罪や穢れが祓われるそうです。すでに何名かの参拝者がくぐっており、くぐりやすい雰囲気になっています。さあ、Let's begin! せっかくだから余計にくぐってみました。

岩沼の竹駒神社は、随神門をくぐった向唐門の手前に置いてありました。という事で、くぐってみましょう。Let's try! ところが、日本人の遠慮深い気質が邪魔をするのか、皆、くぐらずに通り過ぎていきます。真っすぐ続く表参道上にあるので、左回りだ右回りだとやると多くの目線に触れるわけなので恥ずかしさもあるのでしょうか。しかし「赤信号みんな渡れば怖くない」精神で、Let's go!なのであります。左回り、右回り、左回り、最後に正面をくぐる。そして、手水舎で手、口を清めてから随神門、向唐門をくぐり、拝殿へ。そして後ろを振り返る…。誰もやってない…。赤信号一人で渡っちゃった状態。コンタクトを落とした人とでも思われたか…。でも、いいんです。稲荷狐はわかってくれます。何しろ、ちょっとお値段高めの油揚げを持ってきているのだから。どうか私だけが宝くじにあたりますように。本田忠勝の部屋もリフォームされますように。



竹駒神社



仙台東照宮の本田忠勝の小部屋



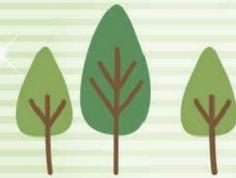
仙台東照宮

スマホ・パソコンで見る

オンライン

医療講演

開催中



**ZOOMアプリを使用して、
パソコン・スマホからご視聴になれます。
詳しくは、当院ホームページをご覧ください。**



編集
後記



新築移転工事も進み、地鎮祭や上棟式など、神事に携わる機会に触れると、日本の文化を再認識するきっかけにもなり、改めて神社仏閣のお詣りの際の作法の意味を考えさせられます。

約半年余りで開院となりますが、気持ちよく来院して頂けるように、しっかりきっちり準備していきたいと思っております。

地域連携室／千葉 英二

基幹型臨床研修病院の役割

当院は、厚生労働省より※基幹型臨床研修病院の指定の元、現在は初期研修医2年次1名・1年次2名を受け入れており、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。

基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めて参りますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

※基幹型臨床研修病院とは、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師（研修医）が卒後2年間、基本的な手技、知識（初期研修）を身につけるために経験を積む病院であり、医師の教育において重要な役割を担っています。

2021年（令和3年）9月発行
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌
編集・発行：地域連携室
発行責任者：院長 佐野 憲
印刷所：モリタ印刷株式会社



医療法人徳洲会 **仙台徳洲会病院**

〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字駕籠沢15
TEL:022-372-1110(代表) FAX:022-372-1499

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

●休診日につきましてはホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキを使用しています。